

教育・文化・スポーツ

教育行政について



朝長 英美 議員

小学校の先生の発達障害児にかかる時間が増えると、ほかの子どもたちにかかる時間の不足や、学力向上への影響が懸念される。このため、小学校に補助員を増員することはできないか。また、中学校のクラブ活動のあり方について、県は、公立の中高に、運動部活動の休養日などを設けるよう、ガイドラインを策定した。この中で、中学校においては、週2日以上以上の休養日を設け、週16時間を超えないことが求められているが、実情はどのようになっているか。

答

小学校の補助員については、通常の学級に在籍する特別な教育的配慮を必要とする児童生徒が年々増加傾向にあるため、増員について毎年協議を行っている。また、中学校のクラブ活動については、部活動によっては週16時間を超える練習の実態がある。県のガイドラインの趣旨である、生徒のバランスのとれた生活と成長の確保、スポーツ障害の予防のみならず、教職員の負担軽減のためにも、本市でも積極的に取り組む。

教育・文化・スポーツ

歴史認識、 歴史教育の重要性



中瀬 昭隆 議員

歴史を紐解くことが将来への一歩である。天皇が「国民は宝」として国民を慈しむ歴史は世界一長く、国民と家族的な関係である。今日、「世のため、人のため」「己の心に問え」の理念が薄らいでいる。史実に基づいた歴史に学ぶことや、教科書の他に副読本の活用も必要と考える。21航空廠の軍属であった神近氏が書かれた大村の近代史も取り上げてよいのではないか。

答

自分の国や郷土の歴史について正しく理解することは、大変重要であると認識している。学校教育においては、学習指導要領等に基づき、地域や学校の実態、児童生徒の発達段階等を十分に考慮して教育を行う必要がある。授業で歴史的な事象を扱う場合は、それを捉える観点によって、恣意的な考察や判断に陥ることのないよう、さまざまな資料を適切に用い、多面的、多角的に考察し、公正に判断することが求められる。今後も適切な教育が行われるよう取り組んでいく。

都市整備

産直かやぜ前交差点を 四差路にする必要性



田中 秀和 議員

本会議一般質問の場でも度々取り上げ、また、現地周辺の萱瀬地区や竹松地区からも陳情が出されている産直かやぜ前の三差路交差点を四差路にする必要性について、もう結論を出すべきである。また、平成32年度には、都市計画道路見直しの時期も控えている。四差路にするのかしないのか、方向性はしっかりと持つべきと考えるがどうか。

答

産直かやぜ前交差点の四差路化については、今後、都市計画道路池田沖田線の全線開通を見据え、平成31年度から着手する都市計画道路の見直し作業の中で、新たな道路の計画について検討していく。



教育・文化・スポーツ

県立・市立一体型図書館の バス停設置について



小林 史政 議員

多くの県民市民から期待されている県立・市立一体型図書館(ミライon)は、平成31年1月の完成に向けて急ピッチで工事が進められている。駅前のバス停から図書館入り口までは、約100mの距離があり、裁判所前のバス停からは約220mの距離がある。年間の来館者が50万~60万人と想定される新図書館に新たなバス停を設置すべきと考えるが、どうか。

答

バス停の設置については、これまでも複数の議員からの提案があり、協議を行ってきた。ミライonの整備が進む中、高齢者や障害のある利用者など、バスを利用して来館される方の利便性向上のため、再度、県交通局や大村警察署など関係機関と協議を行い、新たなバス停を設置する方向となった。新たなバス停の設置は、一人でも多くの来館者を得ることや、ミライonのPRにつながるものと考えている。今後、バス停の設置位置や安全性の確保などについて、関係機関と早急に協議をしていく。

 **都市整備**

みしま花広場の整備について



野島 進吾 議員

大村湾を囲むエリアを一つの経済的地域共同体として、地域経済圏の成立を目指し取り組んでいるが、大村湾沿岸5市5町を牽引する本市の具体的な事業として、長崎空港花文字山に隣接する、みしま花広場を整備することについて、国や県に提言することを望むがどうか。

答

大村商工会議所青年部が、継続的にみしま花広場の整備をされており、3年ほど前には、桜の木を植樹され、今後も数十本植樹されると聞いている。このようなことは、非常に重要なコンテンツであると考えられるため、関係機関の中で話題にしていきたい。



 **都市整備**

大村公園をさらに美しく!!



永尾 高宣 議員

玖島川沿いの遊歩道から、旧体育館跡地へつながる橋の設置の検討状況と大村公園横の玖島川のしゅんせつの進捗状況はどうなっているのか。また、穴門の表と裏の大きさはらんだ石積みへの対応状況を尋ねる。また、市庁舎建て替えに伴い板敷やぐらをはじめ玖島城をアピールするために、市役所側入り口付近にもやぐらを設置することができないか。

答

橋の設置については、旧体育館跡地の利用計画等も見据えながら、総合的に検討していきたい。しゅんせつについては、現時点では考えていないが、今後の状況を確認していきたい。穴門付近の石積みについては、現況を把握するための測量を平成30年度実施している。本格的な復旧には多額の費用を要し、隣接する菖蒲園への影響も大きいため、経過観察を行いながら対応していきたい。市役所側入り口付近へのやぐらの設置については、玖島城のアピール等で集客につながればよいと考えるが、まずは公園の老朽化対策に取り組んでいきたい。

 **行財政・一般**

モーターボート収益金の使途について



伊川 京子 議員

モーターボートから一般会計に繰り入れられる財源について使途を明確にするため、「モーターボート競走事業収益基金」を設置する条例案が出されている。この基金の使途は、公共施設等の整備のための財源とされているが、将来を担う子どもたちのために、学校の建て替え等、教育・文化施設整備に優先して充ててほしいが、市の考えを尋ねる。

答

市が保有する公共施設の計画的な更新を目的として、アセットマネジメント事業計画を策定しており、この計画の実施に合わせ、教育・文化施設に限定せず、基金を活用していく。また、近年の、給食センター、図書館、小中学校へのエアコン整備などに要した起債の償還にも活用していく。

 **行財政・一般**

勝手に世界遺産 プロモーション事業について



城 幸太郎 議員

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が世界文化遺産に登録されたことは大変喜ばしいことであり、その第一歩は大村純忠から始まっていることをPRすることは必要であるが、同時に市職員をはじめとしてオール大村でこの歴史的観光資源を再認識・再学習すべきと考えるがそれに取り組む計画は何かあるのか。

答

子どもたちを中心に、小中学校の郷土史クラブの活動などの機会に、大村純忠の功績を学術的に学んでもらう。一般市民向けには、平成31年1月に有料インターネット動画配信サービス（アマゾンプライムビデオ）で全世界配信される、天正遣欧少年使節をテーマとしたドラマに本市が協賛しており、ドラマの上映会等を予定している。また、平成31年正月にKTNで大村純忠を題材にした番組が放送される。このように、さまざまな機会を設け、取り組みを進めたい。